

代表質問

鳥取県議会自由民主党



安田 由毅 議員
選挙区 境港市



環日本海交流の展開

問 コロナ禍やウクライナ危機など大きく変容する世界情勢の中で環日本海交流を礎とした展望は。

答 境港のような港や空港のある本県は歴史的にも北東アジアと繋がりがやすく、地勢を生かした交流展開が国内大都市との違いを出せる戦略。信頼関係と絆を大切にコロナ禍でも悲観せず突き通すような信念で交流を活発化させ経済や地域社会の振興を図りたい。

自立に繋げる生活再建支援

問 生活福祉資金特別貸付の返済が始まる時期に向けた生活困窮者の自立支援や孤独・孤立対策への取組を伺う。

答 県社協を中心に市町村やワー

難計画の実効性確保が課題。今後の見通しや働きかけ、避難元・避難先の顔の見える相互交流の取組は。

答 米子境港間の道路は避難路としても大きな意義があり、地元2市や島根県とも共同歩調で国に要請すべき重要な局面。肋骨道路の検討を地元でまとめながら米子境港間は任期中に一定の方向性を出すよう努力したい。避難計画は原子力防災会議で認証され実効性が認められているが、不断の努力で見直しながら交通誘導など適切な対策を図る。避難先との交流は今後も平時からの備えとしたい。

不当要求行為から県民を守る

問 暴力団排除条例の改正意義と今後の取組、期待する効果を伺う。

答 (警察本部長) 繁華街や住宅地等への暴力団事務所進出を阻止し、県民の安全と平穏を確保する。今後飲食店等を個々に訪問し、健全な経済活動から暴力団を排除するとともにみかじめ料など資金源となる違法行為の取締りを徹底、暴力団の弱体化・壊滅を目指す。

コロナ後に向けた輸出支援

問 日本海に開けた物流港湾の活用策として、国際市場に向けた産地形成やサポート体制強化策は。

答 食品輸出拡大戦略として積極

的に企業に推奨していきたい。産直港湾(※2)の検討を含め国際ビジネスセンターの体制充実強化を図り、全国初のバーチャルシヨールーム開設など知恵を凝らして海外展開の方策を見出したい。

おもてなし観光の受入強化

問 富裕層などの観光誘客に向けたおもてなし力強化と宿泊者の事情に寄り添う「食のバリアフリー」に観光需要が期待できるのでは。

答 富裕層向け情報発信源でもある日本コンシエルジュ協会の方々をファムトリップ(※3)で招き本県観光素材を紹介するなどの取組を再開したい。ユニバーサルツーリズムは重要で、アレルギー食やベジタリアン対応など宿泊施設の食のバリアフリーも応援したい。

コミュニティスクールの展望

問 地域住民が参加し地域で学校を支える新たな学校運営のあり方への期待を伺う。

答 (教育長) 法改正で努力義務化されたコミュニティスクールは今年度までに県立学校全校と小中学校も8割が導入予定。地域の宝である子どもたちを地域と学校が連携して育てることに意義。地域課題探究などで住民や企業にも与えられる取組として推進したい。

(※1) 肋骨道路…南北に延びる幹線道路に交差する複数の道路
(※2) 産直港湾…農林水産物・食品の産地と海外を直航サービスでつなぐ輸出を促進するための港湾
(※3) ファムトリップ…観光地の誘致促進のため、ターゲットとする国の旅行事業者などを招へいし現地を視察してもらうこと